



2010年6月25日

報道関係各位

合弁会社モリタベトナム

少量の水で消火可能な「CAFS(キャプス)機能付消防ポンプ車」生産・販売を開始

消防車の開発・製造・販売を手がける株式会社モリタホールディングス(本社:大阪・東京、代表取締役社長:中島正博、東証・大証1部)の合弁会社モリタベトナム(モリタホールディングスの出資比率:50%)は、このたび少ない水で消火可能なCAFS(キャプス)機能付消防ポンプ車の生産・販売を開始いたしました。

この車両は、株式会社モリタが製造しているCAFS装置と消防ポンプを使用していますが、日本で活躍しているCAFS機能付消防ポンプ車「Miracle CAFS Car(ミラクル・キャプス・カー)」と架装方法が異なります。ボディの材質にはアルミを使用。ベースとなるシャシも日本では小型車(7~8t車)主流に対し、中型車(10.4t車)を使用しています。また、日本では600~1,500Lの水槽が一般的ですが、今回の車両は2,000Lの水槽を積載しています。そして、油火災対応の消火薬剤(200L)も積載することが可能で、化学車としても使用できるように設計されています。



CAFS機能付消防ポンプ車

今後、モリタベトナムでは当車両について、日本と同等サイズの小型車展開とタッチパネル式ポンプ操作盤「e-モニタ」の導入を検討しています。



CAFS機能付消防ポンプ車のCAFS実演

当車両は今夏からベトナムで販売を開始いたします。初年度販売目標は20台です。

この車両は4月21日にベトナム各県の消防長や購買責任者、技術責任者等約250名が出席した「ベトナム全国63県消防長会議」にて消火実演が行われ、その消火威力が披露されました。日本に比べ、消火栓などの消防水利整備が遅れているベトナム国内において、効果的な消火戦術として大きな期待を受けました。

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:東尾 TEL:03-5777-5088